

<p>1日 ○総務省、6月の労働力調査を発表 完全失業率（季調済前月比）は2.5%で前月（2.6%）から0.1ポイント減少 雇用者数（原数値）は6,109万人で前年同月61万人の増加 完全失業者数（同）は179万人で前年同月7万人の減少</p> <p>○自販連、7月の国内新車販売台数を発表 国内新車販売台数（含む軽）は、37万9,053台で前年比+8.5%と11か月連続のプラス。</p> <p>○米供給管理協会、7月のISM景況指数（製造業）を発表 総合指数は46.4%と前月（46.0%）から増加</p> <p>3日 ○イングランド銀行（BOE）、金融政策委員会を開催 ・政策金利の引上げ（5.00%→5.25%）</p> <p>4日 ○米労働省、7月の雇用統計を発表 非農業部門の雇用者数は前月比18.7万人増、6月分は同18.5万人増に下方修正（△2.4万人）、5月分は同28.1万人増に下方修正（△2.5万人） 失業率は3.5%と前月（3.6%）から低下</p> <p>7日 ○内閣府、6月の景気動向指数（CI）（速報）を発表 先行指数は108.9（前月差△0.2ポイント）で3か月ぶりの下降、一致指数は115.2（前月差+0.9ポイント）で3か月連続の上昇、遅行指数は107.3（前月差+0.4ポイント）で4か月連続の上昇、基調判断は「改善を示している」とし据え置き</p> <p>8日 ○財務省、6月の国際収支状況（速報）を発表 経常収支は1兆5,088億円、前年差+10,110億円で2023年2月以降、5か月連続の黒字</p> <p>○総務省、6月の家計調査（二人以上の世帯）を発表 実質消費支出は前年同月比△4.2%と4か月連続の減少、季調済前月比は+0.9%と5か月ぶりの増加 基調判断は「食料や家具家事用品などの分野で減少が見られる一方で半導体不足の緩和や新型コロナウイルス感染症5類感染症への移行に伴い自動車等関係費や教養娯楽サービスで支出が増加するなどの動きが見られる。」</p> <p>○厚生労働省、6月の毎月勤労統計（速報）を発表 現金給与総額（共通事業所系列）は前年比+2.4%（うち所定内給与は同+1.4%、所定外給与は同+1.5%、特別給与は同+3.9%）となり28か月連続のプラス</p> <p>○内閣府、7月の景気ウォッチャー調査を発表 景気の現状判断DIは前月差+0.8ポイントの54.4となり2か月ぶりの上昇。先行き判断DIは前月差+1.3ポイントの54.1となり3か月ぶりの上昇 景気現状の基調判断は「景気は、緩やかに回復している。先行きについても、緩やかな回復が続くとみている。」とし維持</p> <p>○東京商工リサーチ、7月の全国企業倒産状況を発表 倒産件数は758件（前年比+53.4%）と16か月連続の前年比プラス、負債総額は1,621億3,700万円（同+91.7%）、倒産企業の従業員数は3,679人（同+42.7%）、上場企業倒産は0件</p> <p>○米商務省、6月の貿易・サービス収支を発表 貿易・サービス収支（国際収支ベース）は△655億ドルとなり、前月（△683億ドル）から赤字額は減</p>	<p>少</p> <p>○中国海関総署、7月の貿易収支を発表 貿易収支は+806億ドル、輸出は2,818億ドルで前年比△14.5%、輸入は2,012億ドルで前年比△12.4%</p> <p>9日 ○日本銀行、7月のマネーストック（速報）を発表 M2は前年比+2.4%、M3は同+1.9%、広義流動性は同+2.4%</p> <p>10日 ○国土交通省、6月の建設工事受注動態統計を発表 公共工事受注額は前年比△0.7%で2か月ぶりのマイナス</p> <p>○日本銀行、7月の企業物価指数（速報）を発表 前年比+3.6%となり、29か月連続のプラス</p> <p>○米労働省、7月の消費者物価指数を発表 総合指数は前年比+3.2%、前月比+3.0%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+4.7%、前月比+4.8%</p> <p>11日 ○英政府統計局、2023年4-6月期のGDP（速報）を発表 実質GDP成長率は前期比+0.2%、年率+0.8%</p> <p>15日 ○内閣府、2023年4-6月期のGDP（1次速報）を発表 実質GDP成長率は、季調済前期比+1.5%（年率換算+6.0%）となり、3四半期連続のプラス成長 名目GDP成長率は、同+2.9%（年率換算+12.0%）となり、3四半期連続のプラス成長 GDPデフレーターは、同+1.4%、前年比は+3.4%</p> <p>○東日本建設業保証会社等、6月の公共工事前払金保証統計を発表 公共工事請負金額は前年同月比+6.8%で6か月連続のプラス</p> <p>○米商務省、7月の小売売上高を発表 総合は前月比+0.7%、自動車・同部品を除くと前月比+1.0%</p> <p>16日 ○米連邦準備制度理事会（FRB）、7月の鉱工業生産を発表 総合は季調済前月比+1.0%</p> <p>17日 ○財務省、7月の貿易統計（速報）を発表 輸出は鉱物性燃料等が減少し、前年比△0.3%の8兆7,250億円、輸入は原粗油、石炭等が減少し、同△13.5%の8兆8,037億円、貿易収支は△787億円で2か月ぶりの赤字</p> <p>○内閣府、6月の機械受注統計を発表 民需（除く船舶・電力）は季調済前月比+2.7% 基調判断は「足踏みがみられる」とし据え置き</p> <p>○国土交通省、6月の建設総合統計を発表 公共工事出来高は前年同月比+3.0%で、10か月連続のプラス</p> <p>18日 ○総務省、7月の消費者物価指数を発表 生鮮除く総合は前年比+3.1%となり、23か月連続のプラス</p> <p>28日 ○政府、8月の月例経済報告を発表 景気の基調判断を「景気は、緩やかに回復している。」とし据え置き</p> <p>29日 ○総務省、7月の労働力調査を発表 完全失業率（季調済前月比）は2.7%で前月（2.5%）から0.2ポイント上昇</p>
---	--

# 日誌

(8 月 中)

<p>雇用者数（原数値）は6,085万人で前年同月比33万人の増加 完全失業者数（同）は183万人で前年同月比7万人の増加</p> <p>31日 ○経済産業省，7月の商業動態統計を公表 小売業販売額は前年比+6.8%で17か月連続の増加，季調済前月比は+2.1%で2か月ぶりの上昇 基調判断は「上昇傾向にある小売業販売」とし前月判断を維持</p> <p>○経済産業省，7月の鉱工業指数（速報）を公表 生産は季調済前月比△2.0%，出荷は同△2.1%，在庫は同+0.9% 基調判断は「生産は一進一退」</p> <p>○国土交通省，7月の建築着工統計調査を公表 新設住宅着工総戸数（原数値）は，68,151戸（前年比△6.7%）と2か月連続の減少，季調済年率は77.8</p>	<p>万戸（前月比△4.1%）。</p> <p>○中国国家統計局，8月の製造業PMI（購買部担当者指数）を公表 製造業PMIは49.7ポイントと5か月連続で50を下回った。</p> <p>東証株価指数（TOPIX）第1部（終値） 月間最高値 2,337.36（1日）     〃 最安値 2,237.29（18日）</p> <p>日経平均株価（終値） 月間最高値 33,476.58円（1日）     〃 最安値 31,450.76円（18日）</p> <p>東京外為市場（ドル・円相場，銀行間直物，17時時点） 月間最高値 142.13円（7日）     〃 最安値 146.54円（28日）</p>
--	---